

J R 総連通信

2023年10月26日 No.1684

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

J R 芸備線沿線議員連絡協議会との意見交換会を実施！

地域の声、利用者の声を再構築協議会へ！今後も連帯を確認！



JR総連とJR西労は10月23日、広島市内においてJR芸備線沿線議員連絡協議会(以下:連絡協議会)との意見交換を実施しました。連絡協議会は、JR芸備線沿線の広島、安芸高田、三次、庄原の4市の市議会議員有志88名(10月23日現在)で構成され、全線存続に向けた利用促進やJR西日本をはじめ、沿線自治体でつくる芸備線対策協議会などへの要望活動等を積極的に取り組んできています。

JR総連からは小林政策・政治部長と山田総務・共済・国際部長、JR西労からは田村執行副委員長、幸書記長、広島運輸分会の坂田書記長が参加し、連絡協議会の徳永会長、山本事務局長をはじめ、多くの市議会議員と意見を交わしてきました。

質疑では、「人口減だけでなく、車社会が進行してきたことで道路中心の地域になった影



意見交換の様子

響は大きい。しかし、鉄道は通学の足となっている現実がある。鉄道は欠かせない」「こうした現実を招いているのも政治の責任。しっかりと国に求めていく」など、地域の声、利用者の声を再構築協議会に反映していくためにお互いに知恵を絞り、連帯していくことを確認しました。また、終了後には、連絡協議会の研修会も開催されました。



説明したJR総連資料